



倉田 博之 議員

**市単予算の教員雇用
で学校現場を救え！**

市単予算で教員増員を

問 学校の多忙解消は現
行業務の分担が最も有
効。市の単独予算で教
職員増員の考えは。

答 現状では困難。

問 有効性は認めながら、
市教委が試みる意思を
持たないのはなぜか。

答 補助的指導員などの
充実に事足りる。

問 教育は地方創生の重
要な要素では。

答 広いくくりで同感。

駅西交流センター

問 市民会議を経て今年
度完成予定だった「総
合交流センター」は、
5年前の基本構想から
全く動きがないが。

答 近隣既存施設の機能
なども鑑み、スピード
感を持って取り組む。

問 にぎわいが絶対的使

命の当施設は、人を寄
せる魅力こそ命では。

答 一帯の青写真を描く
中で精査していく。

多世代同・近居の推進

問 「子育て住環境整備
事業」は多世代同居に
有効。近居も同様の支
え合い効果で補助対象
となる他市もあるが。

答 拡充は困難。

問 円滑な同居のため家
計の完全分離を望む声
は多いが、上水道は従
前の原則で世帯別の契
約はできない。

答 ニーズへの対応は課
題で前向きに検討する。
問 現況に追いつかない
旧態の規則は市民の納
得を得難い。自問し素
早く対応できる体制を。

答 同感だが、決まりの
背景や改定による影響
には考慮が必要。



車戸 明良 議員

**中学生の健康診査・
食塩摂取や、血糖値
の結果は？**

**中学生3年生の健康診
査の結果は**

問 今年度から始まった
中学生の市民健康診査
の受診状況と結果の分
析は。

答 受診者437人（47
・8％）のうち、食塩
の取り過ぎが65％、血
糖値を反映する項目で
は37％が正常値を超え
た。食生活の見直しや、
中学生のうちから自分
の健康に関心をもち、
健康診査を定期的に受
けることや、望ましい
生活習慣を身につける
ことの大切さを伝える。

今後の都市計画

問 まちの将来像や整備
方針を示す都市基本計
画は、平成6年に策定
し中心市街地など都市
計画区域を対象にして

いる。将来のまちの姿
を考えると都市計画道
路の見直しを含め、市
全域を捉えたものに見
直すべきではないか。

答 都市部と農山村部の
連携を図りながら、全
市域を対象として検討
する。来年度より基礎
調査を実施し、平成31
年には見直す予定。

問 平成24年に都市計画
区域に指定した国府・
清見・丹生川の一部は、
平成31年まで都市計画
税は課税しないと、
都市計画事業実施に伴
い検討するとしている
が、時期が迫る中、当
該地区の都市計画事業
の検討は。

答 現時点で具体的な検
討は進んでいない。今
後の新たな事業展開が
課題である。



水門 義昭 議員

**市民はお客様！
お客様第一主義の
接遇を！**

**市民をお迎えする
という体制になって
いるか**

問 市民からのご意見や
苦情をどのように受け
とめ、活かしているの
か。各課での窓口業務
は市民をお迎えする
という体制になっている
か。銀行のように机を
対面式にしてはどうか。
また、市の職員として
生き甲斐、働き甲斐を
もって活き活きと全人
格形成に向けて仕事に
取り組んで欲しい。

答 市民は大切なお客様
という意識を持って職
務にあたるよう職員の
接遇向上の徹底を図る。
市民からも窓口に立つ
てもなかなか気づいて
もらえないという話も
聞いている。対面式の
机の配置はサービス向

上へつながる一つの手
段、検討する。

問 児童生徒一人ひとりに目を
向けるには教員の時間的な
余裕も必要。その対策は

答 職務分析調査はでき
ているのか。教育委員
会と学校間の対策は。

問 休暇がとりやすい環
境を整えるために今年
度初めて夏季休業日に
学校閉庁日を設けた。
県の働き方改革を踏ま
え、負担軽減に向けて
取り組みを進めている。
問 部活動における負担
軽減策は。地域型スポ
ーツクラブなどの取り
組みは。

答 部活動の休日や教員
以外の指導者などで体
制を整えてきた。地域
型スポーツクラブにつ
いても指導者などの課
題を研究する。